

## 栃木県の養豚農場で豚熱の患畜確認（国内90例目）

【概要】所在地：栃木県栃木市

飼養状況：約1,100頭

【発生の経緯】

2月15日 農場から、異常が見られる旨の通報を受け立入、病性鑑定を実施。

遺伝子検査等の結果により豚熱の疑い。

2月16日 国の機関での精密検査の結果、豚熱の患畜と確定。

県内では、中濃地域に野生イノシシの豚熱陽性事例が継続しています！

**R6. 2. 8～15 中濃管内(八百津町、可児市) で  
陽性確認イノシシ 2頭**

## 韓国でアフリカ豚熱感染拡大中！

韓国において、アフリカ豚熱ウイルス(ASFV)に感染した野生いのししの確認が拡大しています。日本から50kmしか離れていない釜山で続発中。春節などにより人やものの動きが活発になっていることから、引き続き、侵入対策が必要です。(農林水産所リーフレット参照)

異常があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください。

つながらない場合は [0574-25-3484](tel:0574-25-3484) へ。 土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。

# アフリカ豚熱

## そこまできています

発生を未然に防ぐことが  
日本の養豚を守るために極めて重要です。

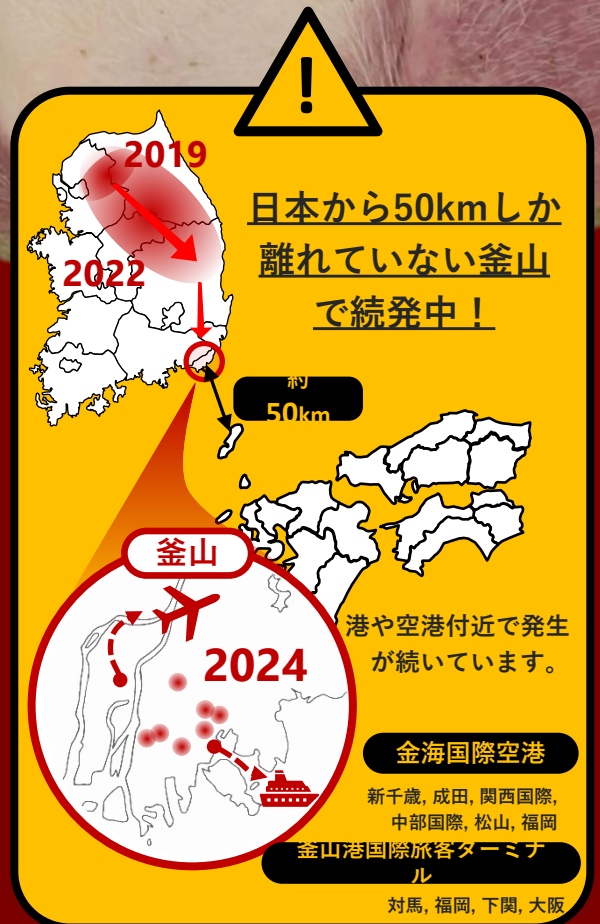
皮膚の出血や全身のチアノーゼが特徴。他には食欲不振・沈鬱等。

農場へのウイルスの侵入を防ぐために、

### すぐに農場の 衛生対策を再点検！

- ⚠️ 致死率はほぼ**100%**
- ⚠️ 中国で発生による死亡・殺処分により豚の飼養頭数が**4割減少**
- ⚠️ 周辺農場も殺処分の可能性

有効な治療法や  
ワクチンはない



# 1 野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などが無いか定期的に点検。

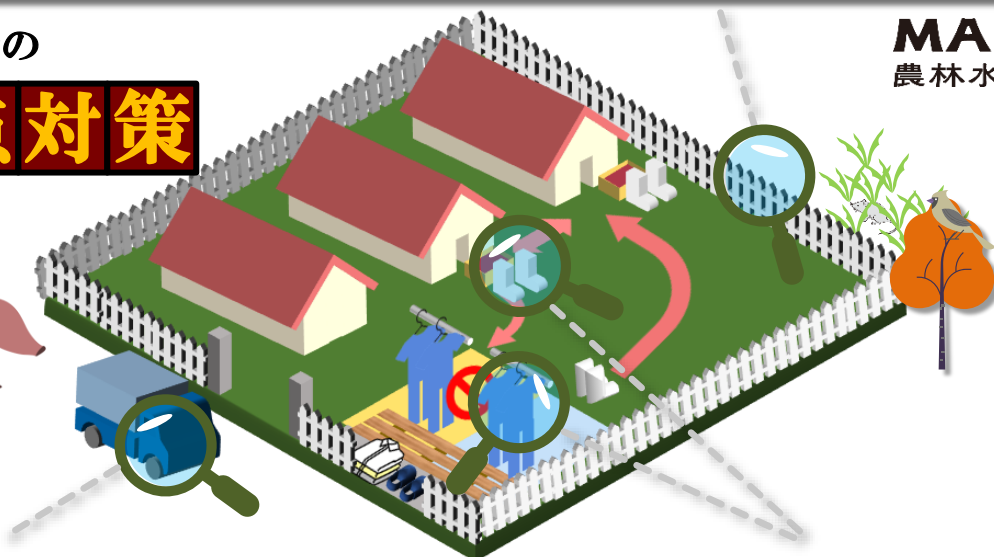
農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

## 重点対策

MAFF  
農林水産省



## 2 農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

## 3 更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。



**豚肉・豚肉製品を絶対に豚に与えない・捨てない！**

従業員にも周知・徹底を！



農林水産省リーフレット